



IFCM オンライン・カフェ、メルズィ・ラヤラ(フィンランド)の“エコサイド法合唱団”

2024 年 10 月 12 日土曜日午後 2:00(中央ヨーロッパ時間)

このオンライン・カフェでは、メルズィ・ラヤラが“エコサイド法合唱団”(Choirs for Ecocide Law)プロジェクトを紹介します。このプロジェクトの目的は、自然とこの地球を護るために国際刑事法が必要であるという意識を高めることです。Merzi は、歌うことを通じてこのプロジェクトに寄与するさまざまな方法を提示します。

今年は“世界合唱の日”(World Choral Day)もまた、これと同じ目的のもとに催されます。わたしたちは力を合わせ、できるかぎり多くの国々に、より安全な環境を作り出すため力を結集するよう呼びかけるつもりです。

メルズィ・ラヤラのオンライン・カフェへの申し込みはこちら。[here](#)

戦略的協力協定が結ばれ、次回 WSCM は……2026 年北京に！

2024 年 9 月 8 日、ポルトガルの首都リスボンの IFCM 本部、モンテ・レアル伯爵邸で、重要な会議が開かれました。IFCM 会長、エミリー・クオ・フォンが、中国アーツ&エンターテインメント・グループ(CAEG)会長、リ・ジンシェンと会談し、次回の世界合唱シンポジウム(WSCM)のすばらしい展望について話し合いました。ともに合唱音楽による国際文化交流の振興という目的を持つ IFCM と CAEG は、“リソースの共有、互惠、相互関与、相互発展”という原則に基づく歴史あるパートナーシップをさらに拡大することで合意しました。両者は戦略的協力協定書に署名し、2026 年、中国の北京で、第 18 回中国国際合唱祭(CICF)との共同事業として、第 14 回世界合唱シンポジウムの開催をめざすこととなりました。

続報にご注目ください。[Stay tuned](#)

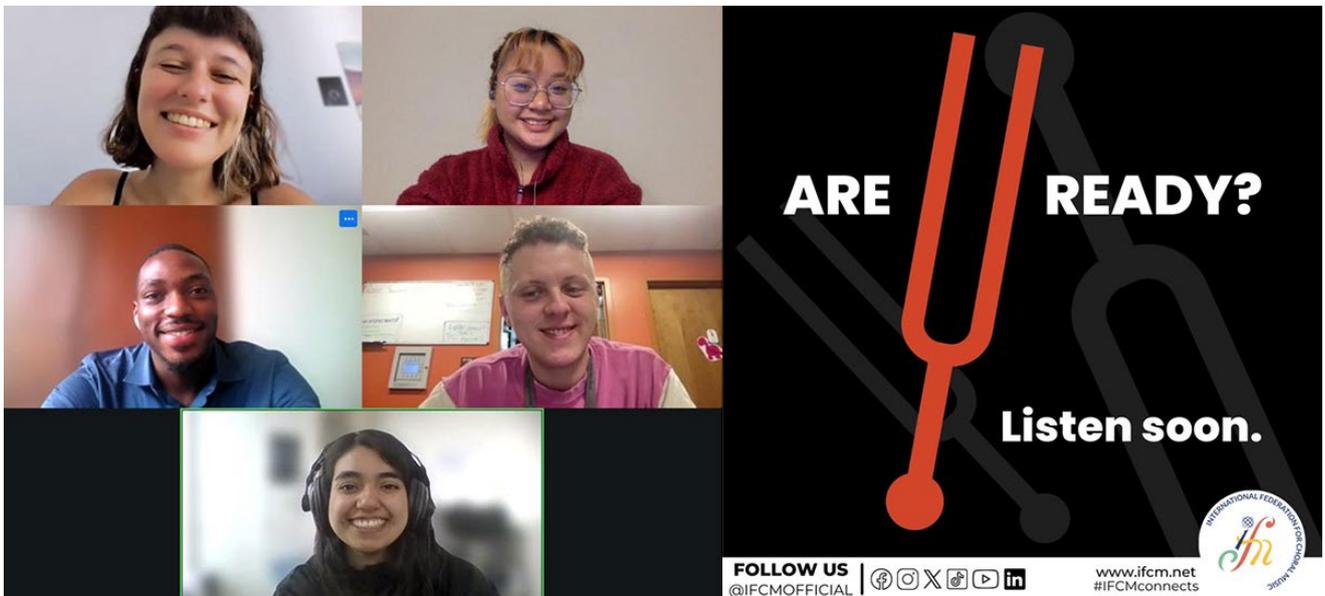


IFCM の新しいポッドキャスト、“ユニゾン”がまもなく始まります！

でも、このプロジェクトはどのように生まれたのでしょうか？

ユニゾンの目的は、さまざまな声と経験を専用のオンライン・プラットフォーム上にまとめることです。このプラットフォームは、IFCM が世界のすみずみにまで働きかけることを可能にするものです。ユニゾンを通じて、IFCM は合唱音楽の多様性を讃え、ひとつのオンライン・スペースに世界中の声を集めようとしています。このポッドキャストでは、プロフェッショナルの育成、および、遠隔の地の伝統的な合唱に関する事柄を重点的に取り上げます。リスナーのみなさんは、国際合唱界の経験豊富な人々から学び、その挑戦を受けることとなるでしょう。

ユニゾンの第 1 シーズンは 8 回連続。毎回、世界の異なる地域からゲストをひとりお招きします。このポッドキャストのスタートにあたっては、まずパイロット版で、ユニゾンの制作担当者である IFCM YOUNG 委員会のメンバーをご紹介し、YOUNG とこの新たなプロジェクトについてさらに詳しくお伝えします。ユニゾンの制作担当者らは、みなさんが初回放送を聴きたくなるようなサプライズをいくつか用意しています。IFCM のソーシャル・ネットワーク([IFCM's social networks](#))で、ぜひこの新ポッドキャストに関する最新情報を追いかけてください。



オンライン・セミナー “合唱音楽の創造——演目の条件について語る”

2024 年 11 月 23 日 土曜日 午後 8:00 (中央ヨーロッパ時間)

オンライン・セミナー、“合唱音楽の創造——演目の条件について語る”のテーマは、合唱曲の作曲技法です。3 名の著名な作曲家が、ご自身の楽曲を例に用い、今日のアンサンブルのための合唱曲を作る方法についてそれぞれのお考えを話されます。

このテーマを深めるために、IFCM はゲストの作曲家のみなさんを世界のあちらこちらからご招待しました。

- マリー・ヘリントン ([Marie Herrington](#)—アメリカ)
マリーは、ウクライナ系アメリカ人のソプラノ歌手、作曲家、指揮者です。2023-2024 年 IFCM 作曲コンクールの優勝者である彼女は、最優秀賞受賞作 “Jelly-Fish”、および、他 2 曲の合唱作品を紹介します。

- ヤッコ・マンテュヤルヴィ ([Jaakko Mäntyjärvi](#)—フィンランド)
ヤッコは、フリーランスの翻訳家であり作曲家であるとともに、アマチュア／セミプロの合唱歌手・合唱指揮者でもあります。彼はフィンランド人として国際的にもっとも有名な合唱作曲家のひとりで、今日までに出版された作品は 150 作にも及びます。
- エバ・ウガルデ ([Eva Ugalde](#)—スペイン・バスク州)
合唱界と深い関係を持つエヴァは、20 世紀末に活躍した作曲家たちの新たな波の牽引者、ハビエル・ブストに刺激を受けて、肉声のための音楽を書きはじめました。彼女は国際作曲コンクールの審査員として世界各地に絶えず招かれています。

お申し込みはこちら。[here](#)

このオンライン・セミナーは、ヨーロッパ連合クリエイティブ・ヨーロッパ・プログラム ([European Union Creative Europe programme](#)) が共同出資し、ヨーロッパ合唱連盟 ([European Choral Association](#)) が統括する“合唱の絆” ([Choral TIES project](#)) プロジェクトの一環です。



CREATING CHORAL MUSIC

TALKING ABOUT THE REQUIREMENTS OF CHORAL REPERTOIRE

Saturday, 23 November 2024 | 20 CEST | Online



Eva Ugalde



Marie Herrington



Jaakko Mäntyjärvi



Co-funded by the European Union

in cooperation with



国境なき指揮者団が、国境を超える指揮者団に

この夏、IFCM 理事会は、IFCM の国際指揮者プロジェクトの新しい名称を承認しました。新名称は、**国境を超える指揮者団 (CBB)** です。世界のさまざまな地域の指揮者同士、または、隣接する地域の指揮者と歌手を結びつけるプロジェクトであるという観点から、新名称はよりふさわしく、その姿を的確に表しているものと言えます。

2025 年、CBB のセッションの一部は、ヨーロッパ合唱連盟の“ピアツーピア交流プログラム”と連携して実施されます。結果として、これら CBB のセッションは、ヨーロッパ合唱連盟 ([European Choral Association](#)) が統括する“合唱の絆”プロジェクト ([Choral TIES project](#)) の経済的支援を受けることになり

まず(“合唱の絆”は、ヨーロッパ連合クリエイティブ・ヨーロッパ・プログラム([European Union Creative Europe programme](#))が共同出資するプロジェクトで、[IFCM](#)の協力のもとに運営されています)。

このプログラムへの参加を希望する合唱団の募集がまもなく始まります。続報をお待ちください。



世界青少年合唱団サマー・キャンプ——忘れがたい旅！

世界青少年合唱団([World Youth Choirbou—WYC](#))は、ドイツ青少年管弦楽団([Bundesjugendorchester—BJO](#))と力を合わせ、タン・ドゥン(アメリカ)とヨルン・ヒネルク・アンドレセン(オーストリア)の卓越した指導のもと、2024年の8月と9月に、3つの異なる国(ドイツ、オランダ、イタリア)で演奏会を11回行い、驚異の演奏を披露しました。

ドイツのボンにおけるこの合唱団の最終公演を見逃したみなさん、その演奏はこちらで視聴することができます！[here](#)

上記演奏会では、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンの傑作「交響曲第9番」と、タン・ドゥン作曲の「合唱協奏曲：ナイン」が演奏されました。ボン歌劇場でのこの公演で、タン・ドゥンは自らドイツ青少年管弦楽団と世界青少年合唱団を指揮しています。「合唱協奏曲：ナイン」は、今回のWYC-BJOセッションのために、ベートーヴェンの「第9」と対で演奏する合唱と管弦楽のための作品として、委嘱されたものです。ぜひ事前に計画を立て、ベートーヴェン没後200年となる2027年に、この新しいエキサイティングな“合唱協奏曲”を演奏してください。

世界青少年合唱団のウェブサイト([WYC website](#))とソーシャル・メディア([social media](#))をフォローしましょう。まもなく2025年セッションのお知らせが出ます。このセッションは、17~26歳(2025年8月1日現在)の歌手にとって、国際的な活動に参加する絶好のチャンスとなります。



田中信昭氏(1928年1月1日～2024年9月12日)を偲んで

長きにわたり日本合唱界を牽引してきた、東京混声合唱団桂冠指揮者、文化功労者の田中信昭氏が亡くなりました。96歳でした。



田中信昭氏は、日本の新潟県生まれ。中学校の音楽教師を経て、東京芸術大学声楽科に入学。1956年に同大学を卒業した後、志を同じくする仲間らとともに東京混声合唱団を創設し、その常任指揮者に就任して、同合唱団を日本有数のプロ合唱団に育てあげました。また、日本の合唱曲をつくることにも力を注ぎ、さまざまな作曲家に作曲を委嘱して、実に460曲もの合唱曲を初演しています。田中氏は、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団やNHK交響楽団など、数多くの管弦楽の公演で合唱指揮者を務めました。それとともに、アマチュア合唱団の指導にも積極的にかかわり、2016年にはその功績が認められ、文化功労者に選ばれています。生涯、現役指揮者だった田中氏の最後の公演は、2024年8月31日に東京芸術劇場で開催された「東京混声合唱団特別演奏会～田中信昭と共に～東混オールスターズ」でした。



世界青少年合唱団(WYC)を通じて、田中信昭氏とIFCMのあいだには特別な関係がありました。田中氏は、1997年の日本での夏のセッション、1999～2000年のベルギーでの冬のセッション、および、2009年のスウェーデンでの20周年記念コンサートで、WYCの指揮者を務めています。田中氏には団員たちに、難易度の高い日本の曲をどのように演奏すべきか考えさせる力がありました。広島でのこの合唱団による林光作「水ヲ下サイ」の演奏は、忘れがたい衝撃のひとつとして、その場にいた人々(歌手と観客双方)の記憶に残っています。団員たちは事前に広島平和記念資料館を訪れ、原子爆弾の恐ろしさを学んでいました。しかし歌詞と音楽に対する団員たちの深い理解を、こんな言葉で掘り起こしたのは、田中氏でした——「自分自身の音楽を創りなさい。そして同時に、ひとつの団として、ともにそれを創りなさい」

日本での1997年WYCセッションの参加者から寄せられた言葉をこちらでごらんください。[Here](#)



肖像、写真ともすべて、© Michael Zaugg



2020年9月8日、東京混声合唱団特別演奏会～田中信昭と共に～『東混オールスターズ』第2部

ヨーロッパ合唱連盟オンライン・セミナー、“集団歌唱の(より)安全なスペース——実践的アプローチ”
10月16日午後5:00(中央ヨーロッパ時間)

あらゆる人に、集団歌唱の心理的、物理的、社会的、教育的恩恵に浴してほしい。あらゆる人に、その技術を高め、できるかぎり高い芸術的レベルに達してほしい。わたしたちはそう願っているのではないのでしょうか？

もしこの目標に対し真剣であるなら、各自のスペースをより安全なものにすることは、合唱団や指揮者や合唱団体にとってきわめて重要です。多様性を認め、あらゆる人を温かく迎える環境は、任意ではなく、必須なのです。

しかしより安全なスペースを作るには、どうしたらよいのでしょうか？ このウェビナーでは、下記の講師たちの知識、技術、専門性をたよりに、この疑問に対する実際的な答えをさがします。

- ドイツ青少年合唱団のヘンリーケ・シャウエルテ(ドイツ)は、プロジェクト“安全な場としての児童合唱団”を紹介しします。
- ミンナカイサ・クイヴァライネン(フィンランド)は、タンペレ音楽祭で実際に用いられている方法を紹介し、主催者がどのように社会的責任を果たしているかをお話しします。
- ソフィー・ドウデン(フランス／イギリス)は、インクルージョンという分野におけるヨーロッパ合唱連盟のさまざまなアクションを紹介しします。

集団歌唱のスペースをあらゆる人にとって安全なものにするために、この重要なディスカッションにぜひご参加ください。

当ウェビナー([webinar](#))は、どなたでも無料で参加できます。お申し込みはこちら。[here](#)
フェイスブックでイベント情報([event](#))を共有し、世界に拡散してください。ご協力をお願いします！
このイベントは、ヨーロッパ連合の共同出資するプロジェクト、[IGNITE](#)の一環として実施されます。



SAFE(R) SPACES IN COLLECTIVE SINGING PRATICAL APPROACHES

Wednesday 16 October 2024 | 5 pm CEST | Online



Henrike Schauerte



Minnakaisa Kuivalainen



Sophie Dowden

an initiative of  **IGNITE**

 Co-funded by the
European Union

ユーロトレッフ 2025、2025年9月3～7日、ドイツ、ヴォルフエンビュッテル

第21回ユーロトレッフ([EUROTREFF](#))が2025年9月3日～7日、ドイツのヴォルフエンビュッテルで開催されます。500人を超える若い合唱歌手が、音楽を通じて心に残る思い出を作るために、ヨーロッパ全土から集まります。この年の公式スローガンは、“一緒に”です。

合唱団のみなさん、青少年音楽作業部会([Arbeitskreis Musik in der Jugend \(AMJ\)](#))のこのイベントにぜひご参加ください。ワークショップの講師は、国際的に活躍する指揮者のチームが務めます。

- 児童合唱団(少人数): マリア・エマ・メリゴポウロウ(ギリシャ)、ヨアヒム・ガイベル(ドイツ)
- 混声合唱団: ヴィヴィアンネ・シドネス(ノルウェー)、エリック・ゾーン(ドイツ)
- 少女合唱団: メレル・マルテンス(オランダ)、ヨハネス・デヴェルデ(ベルギー)

練習と演奏会に加え、参加者のみなさんは、中世の町、ヴォルフエンビュッテルを散策したり、さまざまな国の新たな仲間と知り合ったりすることができます。

詳しくはこちらをごらんください。[More information](#) - [Facebook](#) - [Instagram](#)



カタルーニャ合唱連盟——2025 年合唱作曲カタルーニャ賞

カタルーニャ合唱連盟([Federació Catalana d'Entitats Corals](#)—FCEC) 第 10 回国際合唱作曲賞“カタルーニャ”へのご応募は、2025 年 1 月 31 日まで受け付けています。募集作品は、カタルーニャ語の詞に付けた合唱曲、または、カタルーニャ民謡を編曲した合唱曲です。部門は、混声合唱と同声合唱の 2 部門です。

オルフェオ・カタラ([Orfeó Català](#))もまた、同じ応募期限で、合唱作曲コンクールを実施しています。最優秀賞の発表は、2025 年 7 月です。受賞作品は、カタルーニャ合唱連盟が出版し、ご要望に応じて合唱団の団員やその他のみなさんにお届けします。また、それらの作品は、2026 年 3 月 1 日にカタルーニャ音楽堂で開催される合唱音楽祭でも演奏されます。

ご応募はこちらからお願いします。[here](#)



2024年10月にお申し込みが締め切りとなるフェスティバル

[7th Bandung Symposium on Choral Music](#), Indonesia, 22-25 Jan 2025. Discounted registrations fees before 7 September and 7 October 2024.

[Cork International Choral](#), Ireland, 30 Apr-4 May 2025. Fleischmann International Trophy Competition (closing date: 31 October 2024) or the Non-Competitive International strand (closing date: 30 November 2024).

[73rd European Music Festival for Young People](#), Neerpelt, Belgium, 30 Apr-5 May 2025. Apply before 28 October 2024.

[19th International Chamber Choir Competition](#), Marktobendorf, Germany, 6-10 June 2025. Apply before 31 October 2024.

[Limerick Sings International Choral Festival](#), Limerick, Ireland, 6-8 June 2025. Apply before 31 October 2024.

ヨーロッパ合唱連盟(ECA-EC)発行の合唱イベントカレンダー([Calendar of Choral Activities](#))、および、全米合唱指揮者協会(ACDA)のネットワーク、コーラルネット([ChoralNet](#))で、来月以降の合唱イベントをご確認ください。

告知したいフェスティバルがあるかたは、ぜひ事務局にご連絡ください。[contact the office](#)